

外国語活動学習指導案

世羅町立世羅小学校

指導者 T 1 パワーアップリーダー 石橋 恒也
T 2 A L T Brittney Imada
T 3 J E T 中間 みどり
T 4 林 智子

- 1 日 時 平成 31 年 1 月 30 日 (水) 5 校時 (13 : 55 ~ 14 : 40)
- 2 学 年 第 5 学年 A 組 (30 名)
- 3 単元名 Who is your hero? あこがれの人 (We Can! 1 Unit 9)
- 4 単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領解説 外国語編 (平成 29 年 7 月) における英語 (2) 読むこと「イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。」に基づいて指導する内容である。

本単元は、できることや得意なことを **can** 及び **be good at ~ing** を使って尋ねたり伝えたりするとともに、三人称 **he she** を使い、慣れ親しんだ表現を使って文章を書き写し、友達の文を読み、最後に自分のあこがれの人について紹介する。できることについては、年度当初の自己紹介で **can** を使った表現を経験している。一方で **be good at ~ing** は初めて取り扱う表現である。自分のあこがれの人を友達に紹介し合うという単元ゴールを設定することで、目的意識をもって書いたり、友達の書いた英文を理解しようと読んだりすると考えられる。また、単元を学習していく過程で、自分のできることや得意なことを友達に伝えたり、友達から認められたりすることで自尊感情が育つことが期待できる。

- 本学級の児童は、第 1 学年の時から年間 30 時間程度の外国語活動を行っており、身の回りの簡単な英語を使ってゲーム等を行い、楽しんで活動してきた。これまでの学習を通して、何とか英語で話したり聞いたりして相手に伝えることを大切に活動を行ってきた。積極的に英語で会話をしたり、書いたりしようとする児童が多いが、書くことやみんなの前で発表することに苦手意識があり活動に消極的な児童もいる。個別に対応して励ましたり、ヒントを出したりしながら、できるだけ楽しく外国語活動ができるようにしている。

児童にとって、読む活動は初めてである。リスニングでは、登場人物が話す内容を何とか聞き取ろうと努力し、大まかな内容をとらえることができていたので、音声と文字を一致させることでより理解が深まると考える。

- 指導に当たっては、音声と文字、意味をつなげて理解させるために、文字の形に十分親しませるとともに、ゲーム活動や **Small Talk** で、音声を繰り返し発音させることで、文字や単語のまとまり、文の構造について慣れさせ、書く活動へつなげていきたい。読む学習では、A L T のあこがれの人について、「音声のみを聞く」「音声を聞きながら英文を指で追う」「文字を示して、話された語句や表現を見つける」といったスモールステップの過程を通して、児童があまり負担を感じず読むことに慣れるようにさせたい。また、間の取り方やキーワードの強調の仕方によって伝わり方が違うことを、いろいろな発表の仕方を例に出し比較させることで、相手に内容を分かりやすく伝えるためには、発表の工夫が必要なことも考えさせたい。

5 単元の目標

- 【コ】他者に配慮しながら、自分があこがれたり尊敬したりする人について、紹介し合おうとする。
- 【慣】・できることや得意なことについて、聞いたり言ったりすることに慣れ親しむ。
 ・状態や気持ちを表す表現に慣れ親しむ。
 ・簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に書き写したりすることに慣れ親しむ。
- 【気】英語による発表の仕方によって、聞き手の受け取り方が違うことに気付く。

6 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
他者に配慮しながら、自分があこがれたり尊敬したりする人について、紹介し合おうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・できることや得意なことについて、聞いたり言ったりすることに慣れ親しんでいる。 ・状態や気持ちを表す表現に慣れ親しんでいる。 ・簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に書き写したりすることに慣れ親しんでいる。 	英語による発表の仕方によって、聞き手の受け取り方が違うことに気付いている。

7 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	自分のあこがれの人について、やり取りや原稿を読むことを通して友達と伝え合う。
目指す児童の姿 (話すこと [やり取り])	A: Who is your hero? B: My hero is my sister. She can play the flute well. She is good at playing the piano, too. She is cool. A: That's nice. B: How about you?
目指す児童の姿 (書くこと)	This is my hero. She is my sister. She can play the flute well. She is good at playing the piano, too. She is cool. She is my hero.

8 言語材料 (下線は新出表現, 語彙)

主な表現	主な語彙
<u>Who is your hero?</u> This is my hero. <u>[He / She] is good at (playing tennis).</u> <u>[He / She] is a good (tennis player).</u> [He / She] can (cook well). <u>[He / She] is [kind / cool / great / strong / gentle / active / brave / funny].</u>	hero, flute, family 状態・気持ち (active, cool, fantastic, friendly, gentle, kind, brave, funny, strong, tough) 動物 (fox, yak, zebra, zoo)

9 単元計画（全8時間 本時7/8時間）

時	目標（◆），主なやり取り等	評価規準 (評価方法)	発話例
1	<p>◆can と be good at の表現の仕方が分かり，自分のことを伝え合う。</p> <p>できることや得意なことを伝える表現に慣れよう。</p> <p>○Let's Listen 「できることや得意なことを使った表現を聞き取る。」</p> <p>○Let's Play Game 「できることや得意なことを伝えるゲームをする。」</p>	<p>【慣】</p> <p>できることや得意なことについて，聞いたり言ったりすることに慣れ親しんでいる。 (行動観察)</p>	<p><u>I'm good at (playing tennis).</u></p> <p>I can (cook well).</p>
2	<p>・単元終末の活動を知り，単元の見通しを持つ。</p> <p>自分のあこがれの人を友達に紹介しよう。</p> <p>○Small Talk 「できることや得意なことについてのやり取り/できることや得意なことを伝え合う。」</p> <p>◆教師のあこがれの人について聞き，その紹介表現を知り，単元の見通しをもつ。</p> <p>あこがれの人を紹介する表現に慣れよう。</p> <p>○Let's Watch and Think 「映像や音声をもとに分かったことを交流し合う。」</p> <p>○Let's Chant 「自分が紹介する人のイメージをもつ。」</p>	<p>【コ】</p> <p>他者に配慮しながら，自分があこがれたり尊敬したりする人について，紹介し合おうとしている。 (行動観察)</p>	<p><u>Who is your hero?</u></p> <p>This is my hero.</p> <p>[He / She] is good at (playing tennis).</p> <p>[He / She] is a good (tennis player).</p> <p>[He / She] can (cook well).</p>
3	<p>◆状態や気持ちを表す表現に慣れる。</p> <p>状態や気持ちを表す表現に慣れよう。</p> <p>○Small Talk 「できることや得意なことについてのやり取り/できることや得意なことを伝え合う。」</p> <p>○Let's Play Game 「有名人のイラストをもとに，その人に合う表現を選んで伝え合う。」 (例 Ichiro is cool.)</p>	<p>【慣】</p> <p>状態や気持ちを表す表現に慣れ親しんでいる。 (行動観察)</p>	<p><u>[He / She] is [kind / cool / great / strong / gentle / active / brave / funny].</u></p>
4	<p>◆できることや得意なことを質問したり答えたりする。</p> <p>できることや得意なことを聞いたり答えたりしよう。</p> <p>○Small Talk 「できることや得意なことについてのやり取り/できることや得意なことを伝え合う。」</p> <p>○Let's Play 1 「誌面のイラストをヒントに質問し，相手のことを知る。」</p>	<p>【慣】</p> <p>できることや得意なことについて，聞いたり言ったりすることに慣れ親しんでいる。 (行動観察)</p>	<p>Can you (cook well)?</p> <p>Yes, I can (well).</p> <p>Yes, I'm good at cooking.</p> <p>Yes, a little.</p> <p>No, I can't.</p>
5	<p>◆友達とのやり取りで得た情報をもとに，別の友達に She/ He を使って伝える。</p> <p>質問して分かったことを友だちに紹介しよう。</p> <p>○Small Talk 「できることや得意なことについてのやり取り/できることや得意なことを伝え合う。」</p> <p>○Let's Play 2 「She/ He を使って，別の友達に友達を紹介する。紹介された方は，その情報から誰かを当てる。」</p>	<p>【慣】</p> <p>できることや得意なことについて，聞いたり言ったりすることに慣れ親しんでいる。 (行動観察)</p>	<p>[He / She] is good at (playing tennis).</p> <p>[He / She] is good (tennis player).</p> <p>[He / She] can (cook well).</p> <p>[He / She] is [kind / cool / great / strong / gentle / active / brave / funny].</p>

6	<p>◆自分のあこがれの人について、例を参考に書き写す。</p> <p>自分のあこがれの人について、紹介する文を書こう。</p> <p>○Let's Write 「あこがれの人についてのメモや誌面のイラストをヒントに例文を見ながら書き写す。」</p> <p>○Small Talk 「あこがれの人についてのやり取り／あこがれの人について伝え合う。」</p>	<p>【慣】</p> <p>簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を参考に書き写している。</p> <p>(記述・振り返りカード)</p>	
7 本 時	<p>◆あこがれの人について書かれた文の内容を読む。</p> <p>あこがれの人について書かれた文の内容を読もう。</p> <p>○Small Talk 「あこがれの人についてのやり取り／あこがれの人について伝え合う。」</p> <p>○Let's Listen 「ALTのあこがれの人について聞いたり原稿を読んだりする。」</p> <p>○Let's Read 「ペアの友達を書いた原稿を推測しながら読む。」</p> <p>○Let's Read 「グループで、誰のことについて書かれたものか推測しながら読む。」</p>	<p>【慣】</p> <p>簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んでいる。</p> <p>(行動観察・ワークシート)</p>	<p>This is my hero. [He / She] is good at (playing tennis). [He / She] is good (tennis player). [He / She] can (cook well). [He / She] is [kind / cool / great / strong gentle / active / brave / funny].</p>
8	<p>◆自分のあこがれの人を、みんなの前で紹介する。</p> <p>自分のあこがれの人を、みんなに紹介しよう。</p> <p>○Let's Talk and Listen 「話す方は伝えたい内容をゆっくりはっきり話す。聞く方は内容を聞き取ってメモする。」</p> <p>○発表を聞いてよかったところを交流し合う。</p>	<p>【気】</p> <p>英語による発表の仕方によって、聞き手の受け取り方が違うことに気付いている。</p> <p>(記述・振り返りカード)</p>	

10 本時の計画

(1) 目標

自分のあこがれの人とその理由について伝え合ったり、友達の名簿を推測しながら内容を読んだりする。

(2) 評価規準

【慣】 友達のあこがれの人について、簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読むことに慣れ親しんでいる。

(3) 準備物

性格を表すカード（黒板掲示用）、使用英語例（黒板掲示用）、振り返りカード

(4) 展開

学習活動	指導者の役割				・指導上の留意事項 ◆評価規準（評価方法）
	T 1	T 2 (ALT)	T 3 (JET)	T 4	
1 挨拶をする。 ・日直の児童が中心となってやり取りを進める。	English leader please.	<使用英語例> Good afternoon, everyone. What day is it today? What's the date today? How is the weather today? What time is it now?			・Good job! など反応の良さを評価する。 ・既習内容を活かし、相手への反応を大切にしながら、スモールトークをさせる。 ・会話に慣れていない児童のために、黒板に会話例を掲示しておく。
2 スモールトークを行う。（自分のあこがれの人について、絵を見せながらペアで伝え合う。）	Small Talk!			ペアがいない児童の相手をする。	
	<使用英語例> S1: Who is your hero? S2: My hero is my sister. She can run very fast. She is good at playing the piano. She is kind. S1: That's good. S2: Who is your hero? S1: My hero is Ichiro. He can play baseball very well. He is good at running fast. He is cool and tough. S2: That's nice.				
3 単元の流れを確認し、本時の見通しを持つ。	あこがれの人について書かれた文の内容を読もう。				
4 ALTのあこがれの人について聞いたり原稿を読んだりして、内容を話し合う。 ・ALTが読む内容を聞き取る。（音声のみ）	Let's Listen!	表現が難しい部分は繰り返したり、ゆっくり話したりしながら読む。			
	ALT: This is my hero. She is my grandmother. She can speak Chinese well. She is good at cooking, too. She is kind. She is my hero.				

<ul style="list-style-type: none"> 内容についての質問に答える。 	<p><使用英語例> T3:Who is Brittney's hero? S1:Grandmother. T3:Yes, that's right. T1:She can speak ...? S2:Chinese. T1:Yes, she can speak Chinese well. T4:She is good at ...? S3:Cooking. T4:Yes, she is good at cooking. T3:She is ...? S4:kind. T3:Yes, she is kind.</p>			<ul style="list-style-type: none"> できる限り英語でのやり取りを通して行う。難しいところはジェスチャーをしたり日本語で補足したりする。
<ul style="list-style-type: none"> 音声を聞きながら指で追う。(文章を提示) 	<p>Let's Read!</p> <p>A L T が読んだ原稿を配布する。</p>	<p>再度、ゆっくり読んで聞かせる。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> 教師が発音した語句や表現を原稿の中から見つける。 	<p>Find out the words!</p>	<p>T4: Can you point the word "grandmother"? Yes, that's right. Can you point the word "Chinese"?</p>		
<ul style="list-style-type: none"> A L T の後に続いて、繰り返して言う。 		<p>再度、ゆっくり読んで聞かせる。</p>		
<p>5 ペアで自分の書いた原稿を交換して読む。(始めは自分の力で、その後お互いにアドバイスし合いながら)</p>	<p>Let's Read!</p>	<p>T2 と T3 読むことができない部分があった場合を想定し、アドバイスの手本を見せる。</p>		<p>◆【慣】友達のあこがれの人について、簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読むことに慣れ親しんでいる。(行動観察・ワークシート)</p>
<p>6 誰のことについて書かれたか分からない原稿をグループで協力して読み、黒板に貼ってある人物とマッチングさせる。</p>	<p>Let's Read!</p> <p>グループごとに原稿を配布する。</p>	<p>T4 黒板に原稿の内容を表す人物の顔を貼る。</p>		
<p>7 本時の学習を振り返る。</p>	<p>Let's Do 振り返り</p>		<p>発表する児童を指名する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りをチェックし、意欲的な振り返りをしている児童をほめる。
<p>【児童の振り返り（例）】 ゆっくり何回も読んだり、キーワードに注目したりして読むと、内容が分かりやすくなる。</p>				
<p>8 終わりの挨拶をする。</p>		<p>T3 : That's all for today. See you next time. Bye.</p>		

1/30 Today's goal

Wed.

ヒーローについて書かれた文の内容を読もう。



This is my hero.
 She is my grandmother.
 She can speak Chinese well.
 She is good at cooking, too.
 She is kind.
 She is my hero.



※ALT のあこがれの人

S1: Who is your hero ?

S2: My hero is my sister. She can run very fast.
 She is good at playing the piano. She is kind.

S1: That's (good).

S2: How about you ?

S1: My hero is Ichiro. He can play baseball very well.
 He is good at running fast. He is cool and tough.

S2: That's (nice).

※Small Talk 会話例